

## ◇各教科等の授業改善に向けた具体的な方策

### 【国語】

<p>■生徒の状況</p>	<p>(1) 授業の目標を理解し、振り返りの際に目標とした内容が身につけているかを確認できる生徒が多い。</p> <p>(2) リーディングスキルテストの結果を見ると、推論（既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に判断する力。）に課題がある。</p> <p>(3) 200字作文やコンクールに向けて作文を書くことで、作文能力が向上している。</p> <p>(4) グループワーク等を通じたコミュニケーションスキルについては個人差がある。</p> <p>(5) 意欲的に授業に取り組む生徒が多い。</p> <p>(6) 家庭学習に取り組める生徒と取り組めない生徒で学力に差が生じている。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(1) 授業の中でグループワークや自分の考えをまとめる時間を設け、推論の力を身につけていくことが課題である。</p> <p>(2) 全体的な学力の底上げのため、基礎的・基本的な学力の定着を図ることが課題である。</p> <p>(3) 学習に意欲的に取り組めない生徒や消極的な生徒に対して、授業の改善や工夫をしていくことが課題である。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><b>1 基礎学力の定着</b></p> <p>(1) 授業ノートやワークの状況を確認し、確実に身につけさせる。</p> <p>(2) 授業の中で基礎基本となる読み解きを行っていく。</p> <p>(3) 小テスト等を適宜活用し、基礎基本を定着させる。</p> <p>(4) 小中一貫教育教材を単元の内容に応じて活用する。</p> <p><b>2 1を支える家庭学習の推進</b></p> <p>(1) 小テスト等の際には事前に学習プリントや課題を用意し、家庭学習に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>(2) 家庭学習として授業ノートまとめ・ワーク・プリント演習を行い、家庭学習の定着を図る。</p> <p><b>3 授業における思考力・判断力・表現力の育成</b></p> <p>(1) 授業の中でグループワークの時間や自分の考えをまとめる時間を設け、推論の力を身につけさせる。</p> <p>(2) 探求型や問題解決型の形態を取り入れ、知的好奇心を刺激しながら授業を行う。</p> <p>(3) 個別学習と協働学習をバランスよく行い、自ら課題に取り組む主体的な姿勢と自分の考えを表現する力を養う。</p> <p>(4) 文章に即して読み、様々な価値観や考えを想定して自分の考えをまとめ発表する。</p> <p>(5) 文章を読み比べたり他者の発表を聞いたりして、構成や展開、表現の仕方について評価し合う。</p> <p>(6) 論理の展開に注意して資料を適切に引用するなどの工夫をし、説得力のある文章を書く。</p> <p>(7) 文章に即して要旨を捉え、要約する機会を設ける。</p> <p>(8) 目的に応じた発表方法を身に付け、自らの発表に生かす。</p> <p><b>4 3を自ら伸ばしていくための主体性の育成</b></p> <p>(1) 単元の目標や毎時間の目標を提示し、振り返りを行う。</p> <p>(2) 小テストや家庭学習、課題等への取り組みについて積極的に評価する。</p> <p>(3) 授業の中で学習内容を表現する場を設け、他者とのコミュニケーションの中で自己の力を伸ばしていく意欲をもたせる。</p> <p>(4) 互いに学び合うことができるよう、個別に適切な指導を行う。</p> <p>(5) 適正な評価を生徒に還元していく。</p> <p>(6) 朝読書を継続させ、様々な言葉や価値観に興味関心をもたせる。</p> <p><b>5 ICT機器を活用した授業実践例</b></p> <p>(1) 生徒の思考力・判断力・表現力・主体性の育成を図るために、PC 端末を用いて書画カメラやデジタル教科書、電子黒板等の ICT 機器を積極的に活用していく。</p> <p>(2) PC 端末を用いて、学習アプリでの授業の予習や復習を行う。</p> <p><b>6 小中一貫</b></p> <p>(1) 授業研究を協同で行い、研修会でリトルティーチャーを活用した連携授業を行う。</p> <p>(2) 研修会等で情報交換することで共通理解を図り、小学校での取り組みを授業改善に生かす。</p> <p>(3) フィードバック教材を積極的に利用する。</p>